

本願寺西山別院報

# 久遠

-QUON-

第48号

〒615-8107  
京都市西京区川島北裏町  
29番地  
Tel:075-392-7939  
Fax:075-394-4416  
e-mail: nishiyamabetsuin@msa.biglobe.ne.jp

## 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声  
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ  
「そのまま救う」が 弥陀のよび声  
ありがとう といたたい

この愚身をまかす このままで  
救い取られる 自然の浄土  
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに  
宗祖親鸞聖人と  
法灯を伝承された 歴代宗主の  
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり  
少しずつ 執われの心を 離れます  
生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず  
穏やかな顔と 優しい言葉  
喜びも 悲しみも 分かち合い  
日々に 精一杯 つとめます



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生  
50  
立教開宗  
800

本願寺西山別院輪番  
得度習礼所・教師教修所所長  
西山幼稚園園長

### 中原 敬恵



本願寺西山別院輪番を拝命して、丸二年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症に振り回された二年でしたが、今年度はグッと元の生活様式に舵を切るようになるのでしょうか。マスクを外すのは楽しみでもあり、恥ずかしさもある気が致します。

世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、様々な国で武力による争いが続いております。国内でも、目を覆いたくなるような事件が頻発しているように感じます。

「日本人は平和ボケしている」と言われることがあります。これは、平和な世の中を当たり前と捉えていて、その尊さを知らないこと、そして戦争や暴力の危険性を見抜けないことを指しているようです。新聞やテレビで見聞きするニュースを、なかなか我が事として考えられない自分を反省するしかありません。それと同時に、日々和やかに過ごせている幸せを有難いと感じる心を大切にしなければなりません。

戦争や内紛をはじめ小さな争いも、その起因は様々です。しかし、どの争いにも共通しているのが、

「自分だけが一番」と思う気持ちが根本にあるという事ではないでしょうか。これが「自己中心性」、仏教でいう「我執」といわれる心の動きです。時に、宗教も争いの原因になります。しかしこれも、各宗教の教えそのものの争いではなく、他を認めることが出来ない人間同士の争いではないでしょうか。

親鸞聖人ご消息(お手紙)の中に「御報恩のため、御念仏ころにいられて申して、世のなか安穩なれ、仏法ひろまれとおほしめすべし」(親鸞聖人ご消息第二十五通)と記されています。お念仏を口にするということは、阿弥陀さまのお慈悲が私に届き、お念仏となつて頭れてくださったことです。お慈悲が届く、それは私だけが大切な存在ではなく、私もあなたも全てのいのちが尊いことを知り、そしてその私は、我執を消すことはできないけれど、阿弥陀さまにそのままお任せし、そのままお救いいただくことではないでしょうか。

親鸞聖人は、仏法に出会い、我執から離れられない我が身を知り、お互いに認め合うことのできる世界こそ、安穩な世界だとお説きくださったのです。

草花が芽吹き、桜が咲き、子どもの笑顔と笑い声がこだまする西山別院で過ごせるこの時間を、世のなか安穩なれ、仏法ひろまれと一緒に手を合わせる時間を大切に、本年も寺務に邁進させていただきたいと思えます。

また、令和六年六月には西山別院で「親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年」のご法要が勤まることとなりました。今までご縁をつないでくださったみなさまはもちろんのこと、初めてご縁をつないでくださる方も共に慶びあえる法要にしたいと、職員とも協議を重ねております。法要の日を楽しみにお待ちしております。

四月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にわたり、西山別院開基である覚如上人の御命日法要「覚祖会」が行われます。「覚祖会」は、上人の御旧跡寺院である当別院の大切な法要であり、本願寺教団の基礎を築かれた上人の御遺徳を讃える大切なご縁です。お念仏のみ教えが私どもに届いてくださることに感謝し、ご一緒にお参りいたしましょう。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

# 覚祖会のお知らせ



日時: **4月22日(土)**

速夜法要/午後 2時から【法要後 法話】

初夜法要/午後 4時から【法要後 法話】

**4月23日(日)**

晨朝法要/午前 7時から【法要後 法話】

日中法要/午前10時から【法要後 法話】

場所: 本願寺西山別院本堂

講師: 本願寺派布教使 そのふち かずたか **園淵 和貴 師**  
(大阪教区 西淀川組 西法寺)



日時: **4月20日(木)**

9時30分~11時まで

場所: 書院並びに  
覚如上人御廟所

受付: 西山別院南側  
(大玄関付近)

境内清掃のご協力をお願い



日時: **4月12日(水)**

9時30分~12時まで

場所: 本堂  
受付: 西山別院南側  
(本堂)

お磨き(仏具磨き)のお願い

時間内であれば、いつ来られても帰られても、短時間でもかまいませんので、是非ご参加ください。

お磨きと  
境内清掃のご案内



## 親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要 立教開宗800年

ご本山・本願寺にて、慶讃法要が勤まります

- 法要期日 **2023(令和5)年に5期30日間**
- 【第1期】3月29日(水)~4月 3日(月) 6日間
  - 【第2期】4月10日(月)~4月15日(土) 6日間
  - 【第3期】4月24日(月)~4月29日(土) 6日間
  - 【第4期】5月 6日(土)~5月11日(木) 6日間
  - 【第5期】5月16日(火)~5月21日(日) 6日間

# 本願寺西山別院開基「覚如上人」 祥月命日 御代香



二月二十三日は、西山別院開基覚如上人の祥月命日にあたり、本願寺御住職の御代香として西本願寺の式務部侍真が来院し、本堂並びに覚祖廟（覚如上人のお墓）を参拝されました。



## 【覚如上人】

（かくによしようにん 一二七〇～一三五二）

本願寺第三代宗主。西山別院開基。親鸞聖人の曾孫に当られ、親鸞聖人の伝記である「伝絵」（御伝鈔）や、報恩講の由来となった「報恩講私記」など多くのご著作を残され、本願寺教団の礎を築かれました。当別院境内地の北西には御廟所（お墓所）があります。

## 覚如上人、最晩年に詠まれた和歌

南無阿弥陀 仏力ならぬ のりぞなき  
たもつ心も われとおこさず

従覚上人「慕婦絵」所収

## 【現代語訳】

南無阿弥陀仏のみ教えに、阿弥陀仏のはたらきによらないことはありません。たとえ私の（信）心であっても、私が自ら起こしたものではありません。

## 永代経

### のご案内

本堂に法名を奉呈し、毎月一日の午後三時より読経いたします。（一月のみ六日午後三時より）是非ご家族でお参りください。ご進納いただきますお志は、永代にわたる仏法の護持、継続の為に大切にに使わせていただきます。

永代経のお志は、五万円から受付させていただきます。ご不明な点がございましたら、別院寺務所（075-39217939）までお問い合わせください。



# 元本願寺角坊別院 永代経参拝

お念仏のおみのりが  
永代に渡って伝わるように

二〇二三(令和五)年一月二十一日(土)本願寺  
角坊還浄殿げんじょうでんに於いて元本願寺角坊別院永代経  
参拝を行いました。

永代経法名軸と法名紙を御尊前に奉呈し、佛  
事勤行「仏説阿弥陀経」のお勤めをいたしました。  
故人の方々のご恩に想いを寄せ、尊いご縁  
であったと御本尊に手を合わせ、参拝者一同こ  
ころ静かにお念仏をさせて頂きました。



中原輪番調声



法要ご法話



還浄殿



令和五年元日七時より、元旦  
会をお勤めして、今年もお念仏  
を依り所として生きることを改  
めて御尊前  
へ奉告いた  
しました。

## 元日会

お正月



正信念仏偈をお勤めいたしました

## 除夜会



感謝込め鐘撞き

令和四年をふり返り、一年を  
締めくくる大晦日の法要「除夜  
会」をお勤めいたしました。  
本堂で読経した後は、輪番の  
一打目に続いて鐘を撞きました。

# 三つの掲示板



西山別院の掲示板は、東門横、南門横、そして川岡踏切前(東側)の計三カ所に設置されています。東門横掲示板には、仏教語四コマまんがや西山幼稚園からのお知らせ、南門横掲示板には、西本願寺(本山)の行事など、川岡踏切前掲示板には、別院職員が毎月ひとつの言葉を選び、その言葉の解説文を掲示しています。令和四年三月から令和五年二月までの言葉を記載いたします。



西山幼稚園  
**卒園式**

三月十七日(金)西山別院本堂で西山幼稚園の卒園式が行われました。四十二名の園児たちは、一人ひとり阿弥陀さまにお花をお供えして卒園の報告を行い、中原園長から修了証書を受け取りました。

それぞれが大きな夢と希望を抱き、これからも阿弥陀さまに教えていただいた感謝の心と笑顔を忘れずに、世界へと羽ばたいてくれることでしょう。



修了証書授与



本願寺賞授与



合掌



献花



感謝の気持ちと思いやりの心



裏千家の徳田宗忠先生よりご指導をいただきました。

西山別院書院で西山幼稚園年長組の子供たちが茶道体験をいたしました。

日本の文化にふれて、基本的な礼儀作法も学びました。

**茶道体験**

一月十九日・二十日



初めてのお点前

一期一会のひととき

**徳田宗忠先生からのメッセージです!**

園児を点前組とお客の組に分ける。点前組の子供たちは「美味しくなあれ!美味しくなあれ」と斉唱しつつひたすら茶筌を振る。

客組園児は「苦い!」と顔をしかめる子、「美味しいもったのみたい」と言う子、夫々楽しそうだった。子供たちが大きくなった時「幼稚園でお茶を点てたんだ、飲んだんだ」と思い出してくれれば嬉しい。

# ✈ インド紀行 佛足に額づいて⑦

西山別院仏教婦人会会員  
柳瀬千代子



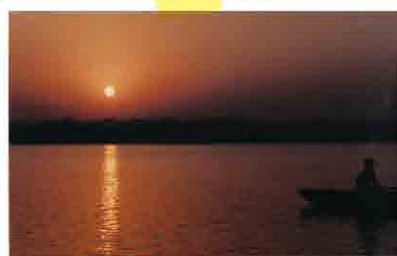
一九八八(仏歴二五三二)年一月二十日〜二月三日  
仏教の開祖である釈尊が、お生まれになり、悟りを開かれ、法を説かれ、入滅された地インド。日本人が古より「天竺」と仰いできたインド。かつては遠い遙かな国「天竺」も今では日本から飛行機で八時間ほど。釈尊の足跡を慕い巡拝された柳瀬千代子さんの紀行文です。

一月二十四日

ベナレスへ着きました。  
ガンジス河を見ました。  
なんと大河です。

見晴かすガンジス河の木々の上  
今静静と陽はのぼりくる

母なる河のガンジスの河面に  
光るさざ波を  
尼蓮禪河にのぼる陽が  
遙かの大地を照らしつつ  
時をへだてて今ここに



大らかにガンジスの陽は昇る  
(昭和63年1月24日未明 ベナレス)

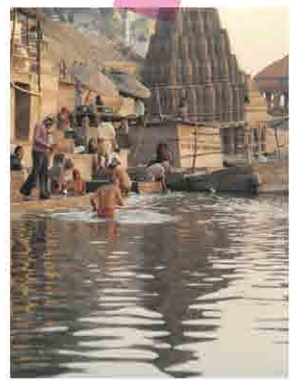
あの尼蓮禪河にのぼった太陽が、このガンジスの河面に光る

ガンジスの沐浴を見に行きます、道は眞暗です。  
大勢の人達が小さな入れ物をもって歩く足は素足です。  
このガンジスの水を汲んで、それぞれの故郷に持ち帰り「聖なる水」又は「神」として祀り、  
あるいは「お薬」として崇めるそうです。  
私達は小さな舟に乗ってガンジス河を上下する。  
このうす寒い中、河の水を浴び祈っております。  
神に祈る姿は眞剣であります、私にこれ程の眞剣な姿がありましようか、何とその人々の多いことよ。  
「死を待つ家」の前を通ります。それは小鳥の巣箱の様な小さな木の小屋で、その中で老人が静かに微笑んでおります。

ガンジス河のほとりで死を望む人の姿を見ました。  
にこにこ微笑む その姿の中には、私達の心の中には無い静かさが満ちております。  
また、あちこち死者を燃す煙も立ちのぼっております。  
私達は、そっとその間をすり抜けています。その人の多い牛がいて人であふれしつかりと前の人の手をにぎり服をにぎっていなければ迷ってしまうほどの雑踏でありました。  
釈尊初転法輪の聖地サルナートに向かいます。



主役は牛



聖なる河 ガンジス



## 「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」-子どもたちを育むために-

### 「子どもたちの笑顔のために募金」のご報告と御礼

子どもたちの笑顔のために募金の協賛事業として西山御坊ぎんなん会主催の「ぎんなんフリーマーケット」が令和四年十二月四日に開催され、お心こもる募金(六、二一〇円)が寄せられました。浄土真宗本願寺派重点プロジェクト推進室を通じて、関係団体へ送られ国内外の子どもたちへの支援活動に充当されます。ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。



モノを大切に

手作り品やリサイクル品

料金別納郵便 6,210円

京都府京都市西京区川島北原町29番地  
本願寺西山別院 様

子どもたちの笑顔のために募金領収書 No.3311

金額 6,210 円

令和4年 12月 9日  
上記の通り領収しました

〒600-8501  
京都府京都市西京区川島北原町29番地  
浄土真宗本願寺派 西山別院 事務室  
TEL 075-371-5181 (代)



赤と黄色の葉の重ね方に芸術性が光ります。

境内の作品展

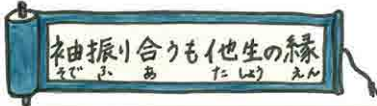
境内の可愛い作品を紹介します♪



お料理をしたのかな？何の実？



寒波が押し寄せた日西山別院も雪に覆われ真白に



～雪の日の裏話～  
西山別院の本堂は江戸時代からの古い建物大雪の日、本堂の裏にも雪が吹き込みました(おま)急いで畳を上げ、隙間にタオルを詰め込み、ひたすら床拭き大切な本堂、頑張ってます！



美化活動  
すこやかクラブ  
川島楽友会

令和五年三月十四日

早朝より約一時間の美化清掃奉仕(白洲・西山墓地)をしていただきました。



少し肌寒さの残る三月十四日(火)でしたが本願寺西山別院様の境内清掃(草むしり)に行ってきました。昨年、九月にお話を頂いたのですが当日が雨で中止になり、いつも総会や会議でお借りしている別院様にお返しを思っておりましたので良い機会となりました。別院様が気を使って頂き短時間でのご奉仕でしたが私の気分は爽快です。これからも西山別院様と地域住民や老人会が気さくにお付き合いできるようになればと思っています。ありがとうございました。川島楽友会会長 神山利彦